

名人達人宝人

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。地域活動やまちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを達人たちがおうちがわしています。

コーチングの技術を利用して みんなの幸せを増やしたい

林田 さゆりさん



▲ホワイトボードを使い、笑顔で解説する林田さん。

コーチングとは、人材育成のための手法の一つ。よく知られているのがスポーツなどのコーチで、個人の能力を引きだし、伸ばしていくのが仕事です。林田さんはコーチングの専門家、目標達成や問題解決の糸口を目指す人のコー

チとして活躍。企業のリーダーシップ養成などの研修や、一般向けのコミュニケーションアップセミナーなども主催しています。コーチングのやり方は、教えるのではなく、引き出すこと。その基本はコミュニケーションの

キルです。傾聴・承認・質問。をベースにした対話によって気づきを促し、本人が持つ思いや能力を引きだしていくのです。コーチングの基本的な考え方は「答えは自分の中にある」というものです。対話を大切にするのでカウンセリ

ングにも似ていますが、大きな違いはコーチングは癒しや治療を目的にしていること。また、コンサルティングは解決策を提案しますが、コーチングは手助けするだけで答えは自らで導きだしてもらいます。「対話の中で自分のやるべきことに気づいていくのです」と林田さん。

ビジネスに利用されることが多いスキルですが、林田さんはお年寄りや家庭生活向けの支援にも力を入れています。その背景には「のエピソードがあります。林田さんは、病気を患い無気力になっていたお父さんにコーチングを重ね、明るく



▲セミナーはグループに分かれて机を囲み、参加者同士で体験できるのが特徴。



▶仲間や部下との関係を円滑にし、モチベーションを上げるスキルを専らリーダー養成講座。

前向きに変化していくのを感じていました。ある日お父さんは笑顔で「高齢者にも生きがいを与えられおまえの仕事はすごい。おかげで生きるのが楽しくなった」と言われしはらくして他界されたそうです。それから林田さんは身近な人へのコーチングについて考えるようになったと言います。

コーチングで変わっていくビジネススマンを見ながら感じているのが「企業の人材は研修などでたくさん成長の機会を得ているが、個人にはチャンスが少ない」ということ。林田さんはもともと社会を支える基礎の部分に役立ちたいと考えています。「高齢者が希望を持って生き生きと暮らせるように、親が子どもの可能性を引きだせるように、個人の生活に役立つような活動をしたい」と思っています。「だれでもすぐに始められるのは、「相手の話を聞き、まず認めてあげる」こと。実践すれば必ず変化が生まれるそうです。

まちづくりボランティア 人材バンクって何?

地域活動や手作りイベントなどの企画を進める中で、「アドバイザーがほしい」「教えてほしい」といったことはありませんか?

まちづくりボランティア人材バンクは、身に付けた特技や知識を生かしボランティアとして活動する人々を「達人」として登録し、その力を必要とされる市民グループなどに紹介しています。

平成23年2月末現在で人材バンク登録者は243人となりました。

人材バンク登録内容リストはプラザや公民館などにあります。また、ひろしま市民活動支援総合情報システム(ひろしま情報aネット) <http://www.a-net.shimane.pref.hiroshimajp/> も見ることができます。

人材バンク登録や紹介について関心のある方は、お気軽にご相談ください。

人材バンク交流会を 開催しました

10月30日に、まちづくりボランティア人材バンク交流会が開催されました。

さまざまな特技や専門知識を持った登録者が堂に会し、お互いの活動を紹介



▲人材バンク交流会参加者の皆さん